

第 63 回 JALSG 運営委員会議事録

1.開催日時：平成 26 年 10 月 30 日(木)20：25～20：55

2.開催場所：大阪国際会議場 12F 特別会議場

3.出席者：94+委任状 14

4.議事の経過及び結果

1) 幹事会報告

- ・厚生労働省科研費の件：3 次募集で早川班が採択された
- ・ APL204 論文の解析の誤り：JCO に訂正を出す。
- ・施設監査の厳格化：症例登録後の未入力が多い（参考として AML209 で確認）ので、今後の対応を決めていく
- ・モニタリング・監査の共通ガイドラインが作られつつある。JALSG データセンターをどうしていくか？（資金、人材）
- ・JALSG 事務局：基盤をしっかりしていくため、場所・人・資金を検討中。
- ・NPO-JALSG 支援機構：寄付の減少。前年の 1/4 程度。検査料が主であるが、有効活用を検討。
- ・JALSG 研修会：企業とタイアップは難しくなっているので、本年度研修会は再検討。
- ・常設委員会の効果・安全性評価委員に宮脇修一先生が加わる。⇒ 承認された。
- ・疾患別委員会の委員数：AML,ALL 以外の委員数の緩和 ⇒ 承認された。
- ・JSHCT (ALL-WG) との共同研究の期間延長（2017 年 3 月まで） ⇒ 承認された
- ・プロトコール改訂の手順：幹事会の承認を必要とする

2) 常設委員会報告

- ・施設審査・監査委員会：
 - i. 東海大学医学部附属八王子病院が関連病院として参加になった。
 - ii. 施設の増加に伴い監査の厳格化・・・active, inactive の再認定を行う予定。
- ・検体保存委員会：熊本大学から国がん、埼玉医大国際医療センターへ移管する。移管に伴いプロトコール改訂を PI に 11 月に依頼。

3) 各種 project の提案

なし

4) 論文執筆状況・学会発表について

- ・Ph+ALL208 について ASH ポスター発表（藤澤信先生）
- ・APL 染色体について ASH 発表（竹下明裕先生）

5) その他

- ・GML213 委員会委員の交代 ⇒ 承認された